

ドローン飛行児童競う

ルートをプログラミング 関で大会

関市の小学生を対象にしたドローンコンテストが17日、同市若草通のアテナ工業アリーナで開かれ、児童約35人がプログラミングによるドローン飛行に挑戦した。

市教育委員会の学校教育夢プランの一環。プログラミング教育の必修化に伴い、論理的な思考を育んでもらおうと、3年ぶりに開

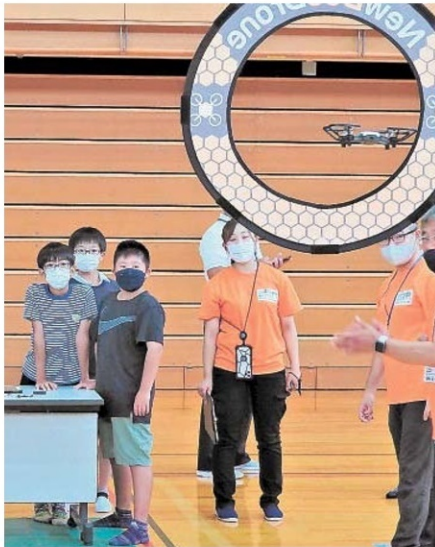
催した。ドローン事業を手がける「ROBOZ」(恵那市)が協力した。

参加者は学校ごとにチームを組んで出場。ドローンの飛行ルートをプログラミングし、数分先の輪を通っ

て無事着陸させるまでの所要時間を競った。失敗してもチームで相談し、高さや距離などを修正しながら正確なルートで飛ばせるようにした。

武儀小学校5年の奥田^{すけ}祐君(10)は「思ったように飛ばなかったけど楽しかった」と話した。

18日には中学生の部が開かれる。
(根尾文悟)



プログラミングを活用してドローンを飛ばす児童ら＝関市若草通、アテナ工業アリーナ